

移・職・住 外国人と生きる

人材求めて②

文化の違い、対応手探り

「伝うから上手です」と余裕を見せた。

チューンさんら7人の実習生を受け入れる日東商事(高知市)では、手探りで意思疎通を図っている。実習生は注意すると「チツ」と舌打ちをし、日本人スタ

族へ仕送りをしているた

ツフの不興を買った。ベトナムでは舌打ちに喜怒哀楽や相づちなどいろいろな意味がある。それが分かり「日本では失礼になる」と丁寧に教えた。

実習生たちは、祖国の家

族へ仕送りをしているた

め、週1回の休みも自分でつましく過ごすことが多い。楽しみは遠く離れた家族や友人とのテレビ電話だ。チューンさんはベトナムで暮らす姉と10分間、たわいのない会話をした。

商業施設を清掃中、早口の日本語や方言が理解できず、客に怒鳴られることもある。ディン・ティ・ピツ

チ・フォンさん(24)は、それでも両親には楽しいことだけを話す。「心配させちゃだめ。頑張ってるんで自宅を修理してあげたい」

高知市内のマンションにベトナム語の明るい声が響く。技能実習生の女性3人が暮らすDKの借り上げ社宅。仕事を終えると台所で、魚を発酵させた調味料「ニョクマム」で味付けした豚肉炒めとスープを分担しながら瞬く間に作り上げた。年長のチューン・フィン・フォンさん(25)は「これが古里の味。ベトナムでは子どもの頃から料理を手

- 日東商事の技能実習生のある1日**
- 6:00 起床・朝食(パン・カップラーメン)
 - 7:00 1カ所目の商業施設で清掃
 - 12:00 昼食(弁当)
 - 16:00 1カ所目を退勤
 - 16:30 本社でミーティング
 - 17:30 帰宅・夕食(ベトナム料理)
・日本語の勉強
・テレビ電話
 - 21:00 2カ所目の商業施設で清掃
 - 24:00 2カ所目を退勤
 - 25:00 帰宅、就寝

最初は文化や風習の違いに戸惑った。ベトナムのよるに分別せずにごみを出したり、深夜に大音量でカ



3人で夕食のベトナム料理を作るチューン・フィン・フォンさん(手前)ら=1月、高知市(魚眼レンズ使用)

なったら気の毒とかぼろのだらう」と打ち明ける。ある実習生はホームシックになり、半年で帰国してしまつた。「十分にコミュニケーションを取って働くには、1年間は日本語を学ぶ必要がある」

現状では、実習期間中の日本語学習は受け入れ企業の能力も限界がある。業務の合間に自習する実習生へ、社員が「大丈夫?」と声を掛けるのが精いっぱい。日本語のテキストを見せられて「はもとより、はどういう意味ですか」と質問されて的確に答えられない。山崎さんは「教材があっても、いい先生がいなければ意味がない」と、国による教育環境の整備を求めている。

ラオケをしたりして近所から苦情が来た。ベトナムは1月でも平均気温が25度程度。ゴー・チュク・ミ

「誰かが問題を起こしても隠してしまう。強制帰国に

実習生同士の仲間意識が裏目に出ることも。日東商事の山崎真人社長(48)は